

ANIC 一般社団法人 北海道新産業創造機構
Agency for New Industry Cluster of Hokkaido

北海道半導体人材育成等推進協議会
第3回会合

一般社団法人北海道新産業創造機構の取り組みについて

NEXTSTAGE

北海道経済連合会
Hokkaido Economic Federation

&

一般社団法人 北海道新産業創造機構
Agency for New Industry Cluster of Hokkaido

2024年3月27日

一般社団法人北海道新産業創造機構の設立

団体名： 一般社団法人北海道新産業創造機構 Agency for New Industry Cluster of Hokkaido
(略称:ANIC エイニック)

代表者： 藤井 裕 (北海道経済連合会 会長)

設立日： 令和5年7月6日

正会員： 北海道電力(株)、(株)北洋銀行、(株)北海道銀行、(公財)北海道科学技術総合振興センター、北海道経済連合会

事業目的

【最先端半導体企業及び関連企業の支援】

- ・立地に関する相談窓口
- ・立地支援・集積支援
- ・道内企業の活用促進・マッチング

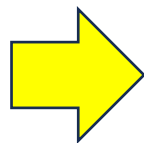
【半導体人材の確保・育成支援】

- ・半導体人材育成等推進協議会との連携

【道内脱炭素推進の支援】

主な活動

- ①「人材の育成及び確保」並びに「取引活性化」に関する調査
- ②「半導体・電子デバイス企業×道内企業」ビジネスマッチング
- ③ (北海道受託事業)次世代半導体産業集積促進調査・分析委託業務



最先端半導体企業及び半導体関連企業

支援



ANIC 一般社団法人 北海道新産業創造機構
Agency for New Industry Cluster of Hokkaido

GX
ゼロカーボン支援

道内脱炭素推進
(北海道経済連合会と連携)

DX
半導体産業支援

次世代半導体産業
プラットフォーム

連携

千歳市

北海道

北海道
経済産業局

北海道半導体人材
育成等推進協議会

支援



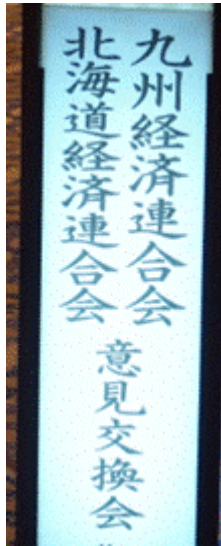
①「人材の育成及び確保」並びに「取引活性化」に関する調査

半導体関連産業先駆者 九州経済界との連携

一社)九州経済連合会と北海道経済連合会との意見交換会を開催

日 時：2024年2月5日(月)

場 所：札幌グランドホテル



九州経済連合会 倉富会長



北海道経済連合会 藤井会長

世界最大の半導体メーカーの進出

- ・経済波及効
- ・雇用の創出
- ・地元の半導体企業の参画が課題

入り込む余地がほとんど無い



「九州地域戦略会議」に於いて
方向性や課題解決について検討



②「半導体・電子デバイス企業×道内企業」ビジネスマッチング

【概要】

「半導体・電子デバイス企業」と「技術・製品・サービスを提案する道内企業」とのマッチング

【業務内容】

- ・エントリー企業の集約
- ・一次選定、合否通知などの支援
- ・イベント開催の支援

【エントリー企業】

- ・一次集約 応募78社 116テーマ
- ・マッチング対象社 35社

半導体・電子デバイス企業 × 道内企業 ビジネスマッチング

参加費無料！

道内企業の技術・製品・サービスを半導体産業へ！

主催：北海道半導体人材育成推進協議会
(事務局：経済産業省北海道経済産業局、事業委託先：公益財団法人 北海道科学技術総合振興センター)

2024年3月19日(火) 開始時間 13:00

ANAクラウンプラザホテル札幌24階「白楊」(札幌市中央区北3条西1丁目2-9)

開催形式

ニーズ公開方式 半導体・電子デバイス企業(発注企業)のニーズや提案対象となるカテゴリーを公開します。	事前マッチング制 道内企業(提案企業)のエントリーシートを、発注企業が事前にも選考する予約面談制です。	1対1の個別面談 1社対1社の対面によるクローズド面談です。
--	---	--

半導体・電子デバイス企業(発注側)

KYOSEMI (株)京都セミコンダクター **SUMCO** (株)SUMCO
DENSO (株)デンソー北海道
Crafting the Core 株式会社デンソー北海道

募集する提案企業

1. 発注企業3社のニーズに対応する技術・製品・サービスを持つ道内企業※
2. 発注企業3社に提案したい技術・製品・サービスを持つ道内企業※(フリー提案)

※道内に事業所を有する企業

ビジネスマッチングまでの流れ

STEP01 エントリーシート提出 ・2月22日(木)エントリーシート提出締切り	STEP02 発注企業による選考 ・3月12日(火)頃に選考結果通知予定	STEP03 個別面談実施 ・3月19日(火)に対面で面談実施
---	---	--

注意事項

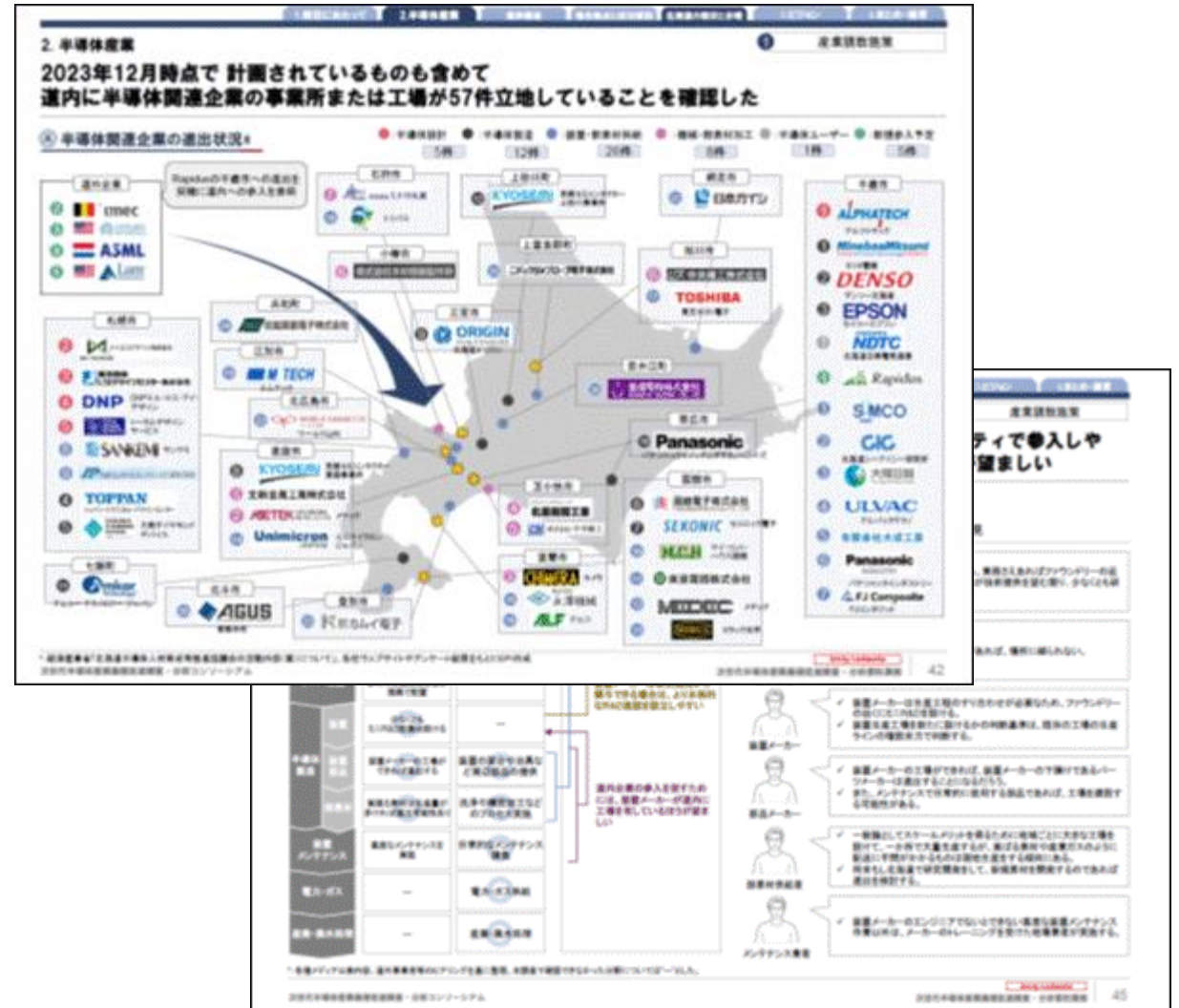
・事前マッチング制のため、面談に至らない場合があります。予めご了承ください。

お申込み 以下のウェブサイトをご確認の上、2月22日(木)までにEメールにてお申し込み下さい。
<https://www.hkd.meti.go.jp/hokcm/20240123/index.htm>

問合せ先 一般社団法人 北海道新産業創造機構(略称 ANIC:エイニック)
E-mail: anic_contact@anic.or.jp

業務内容: 半導体産業構造の調査及び複合拠点における成功要因を分析し、Rapidus 進出を契機とした道内企業を含む関連企業の参画や北海道の経済活性化に向けたビジョンコンセプトを提案

(株) 道銀地域総合研究所



(その他) Rapidus 株式会社立地に伴う道内経済への波及効果シミュレーションの公表

新たな基幹産業として期待する半導体産業の道内への効果ならびに、当機構における今後の活動に資するメルクマールとして、Rapidus社立地に伴う経済波及効果シミュレーションを算定（公表2023年11月21日）

		シナリオ①	シナリオ②
前提条件	Rapidus工場 ＜製造工程＞	IIM-1 ＜前工程＋後工程＞	IIM-1、IIM-2 ＜前工程＋後工程＞
	Rapidusに係る前提条件	2027年度に量産開始	IIM-2は2030年度に量産開始
	産業集積度 (Rapidus社の調達割合・販売割合)	道内調達 1 5 % ・ 道内販売 0	道内調達 3 0 % ・ 道内販売 5 %
	新規立地数 (関連産業の事業所)	2 0 力所	7 0 力所
	従業員数 (関連産業含む)	約 1 , 6 0 0 人	約 3 , 6 0 0 人
経済波及効果	生産効果 (2027年度～10年間)	5 . 8 兆円	1 0 . 0 兆円
	投資効果	Rapidus	4 . 2 兆円
		関連産業	851億円
		住宅設備	356億円
	経済波及効果総額 (2023年度～14年間累計)		1 0 . 1 兆円
	G D P 影響額 (2023年度～14年間累計)		1 1 . 2 兆円

留意事項 記載の前提条件・想定値は、Rapidusや半導体関連産業が計画・公表しているものではなく、仮定による条件及び数値であり、前提条件・想定値の内容、及びその組み合わせ次第でシミュレーション結果は大きく変動する。

一般社団法人 北海道新産業創造機構

<https://www.anic.or.jp>